

【件名】No.140

南長谷について ①新駅構想について ②阿武隈川の護岸補強について

【区分】

メール

【受付日】

令和8年10月1日

【意見・要望の内容】（要約して記載）

- ①人口増加に向けて、南長谷原に常磐線の新駅を設置し、その周辺に店舗や住宅を誘致してほしい。
- ②堤防決壊への不安があるため、阿武隈川の南長谷のカーブ部分を補強してほしい。

【一次対応】

担当課に情報共有し、回答(対応)を依頼(複数回答)

【担当課の回答内容】（全文）

この度は、新駅構想について御意見をいただき、誠にありがとうございます。
前市長が選挙公約で掲げたJRへの新駅設置構想につきましては、将来の市街地形成や人口の受け皿づくり等にもかかわる有用な構想の一つであるものと認識しております。
しかしながら、多額の事業費を要する事業であることに加え、ほ場整備の事業完了からの経過年数等を踏まえますと、今後のまちづくり全体を見据えた慎重な判断が求められる構想であると受け止めております。
いただいた御意見につきましては、今後の市政運営における貴重な参考意見として大切に承らせていただきます。
引き続き、市政発展に向けた御理解と御協力をお願い申し上げます。

この度は、阿武隈川の護岸補強について御意見をいただき誠にありがとうございます。
御要望の阿武隈川につきましては、直轄河川であることから管理しております国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台南部流域治水出張所に対し、新井様にご不安に感じられていることやご要望内容をお伝えしました。
仙台南部流域治水出張所からは以下のような回答を得ております。

「南長谷のカーブにつきましては、水管橋のあたりと思われますが、昭和の時代から護岸が整備されてきており、これまで堤防が決壊するなどの記録は残っておりません。平成以降も堤防の拡幅を行い、計画されている堤防の形状は満足しております。また、令和元年10月の台風19号の際は、計画高水位に迫る大洪水でしたが、明確な堤防の侵食・変状・漏水などは見られませんでした。ただし、平成後期から川底の深掘れが見られたことから、護岸の補強を行い、現在は経過観察中ですが、ここ数年は変状は見られておりません。今後も堤防・護岸の点検を継続し、必要に応じて整備を行ってまいります。現地でのご説明も可能ですので、何かございましたら出張所までご連絡ください。」
(仙台南部流域治水出張所 TEL 0223-22-2801)
今後必要に応じて関係機関と連携を図ってまいりますので、引き続き市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【回答の有無】

回答済

【回答日】

令和8年10月16日

【進捗状況】

情報提供済

【担当課】

まちづくり政策課【☎0223-23-0199】
土木課【☎0223-23-0604】